

# 【日本人のこころ】

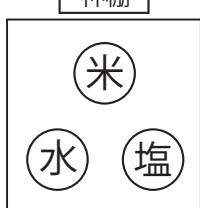
「神宮大麻」は、天照大御神をおまつりする「伊勢の神宮」のお神札で、皇室と日本の安寧の祈りが込められています。大麻とは古来より神様への捧げ物やお祓いの際に用いられる「大麻」（麻、木綿）を指しております。このことから、厳重なお祓いを経て授けられるお神札を「大麻」と呼ぶようになりました。

また、私たちが住む地域の神社「氏神さま」には地域・家庭の平穏への祈りが込められた「氏神さまのお神札」があります。

安寧・平穏の祈りが込められたお神札をおまつりすることは、暮らしどと命を大切に思う「こころ」の表れと言えます。

「神宮大麻」と「氏神さまのお神札」をおまつりし心健やかな日々を送りましょう。

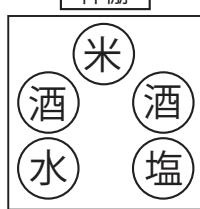
神棚



## ○お供えの仕方○

お米・お塩・お水をお供えする例

神棚



お米・お酒・お塩・お水をお供えする例

## ○拝礼作法○

ご神前に進んだら姿勢を正し、二拝二拍手一拝の作法でお参りします。

1 まず一回、深く頭を下げます。

（その深さは腰を九十度に折る程度が美しいといわれています。）

2 胸の前で両手をあわせ、右手を少し下にずらして二回手を打ちます。二拍手のあと、両手の指先をもとのとおり揃え、手を下ろします。

3 最後にもう一度、深く頭を下げます。

ご神前では「感謝の心」、「おかげさまの心」を捧げてお参りしましょう。

※氏神：祖先に縁深い地域をお守りくださる土地神さま。

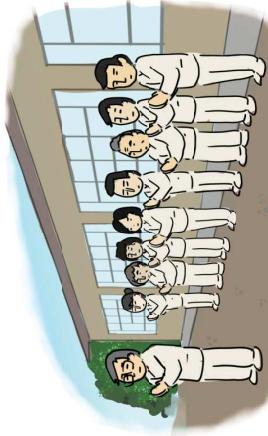
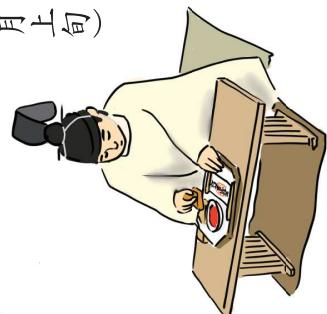
# 神宮大麻がご家庭に届くまで

## 奉製に関するお祭り

たいまれきほうせいかじめさい

### 大麻脣奉製始祭（一月上旬）

奉製作業を開始することを大御神に奉告し、その年の最初の神宮大麻に神璽を押捺します。



奉製を行う神宮職員（大麻奉製員）は毎朝潔斎をして身を清め、神宮遙拝の後、丁重に作業にあたります。

※ 神璽…神宮（神さま）  
おしるし

### 大麻用材伐始祭（四月中旬）

神宮大麻の御用材を伐り始めるにあたり、作業の安全を祈願します。

御用材には皇太神宮（内宮）の南方に位置する神路山の木々が用いられます。



たいまれきほうせいかじめさい

### 大麻脣奉製終了祭（十二月下旬）

今年一年の奉製が終了したことを大御神に奉告します。

### 大麻修祓式（隨時）

清淨を期して奉製された神宮大麻はお祓いされ、領布始祭まで神宮で奉安されます。



※ 完成した神宮大麻には白い薄紙が巻かれ、皆様のお手元に届くまで穢れなきよう、清淨が保たれます。

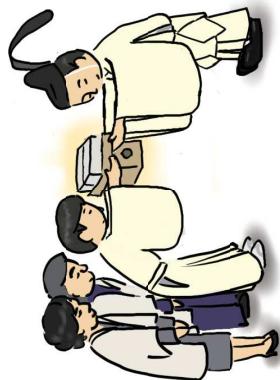
※ 領布…広く配ること

## 頒布に関するお祭り

じんぐうたいまれきほんぶはじめさい

### 神宮大麻脣頒布始祭（九月十七日）

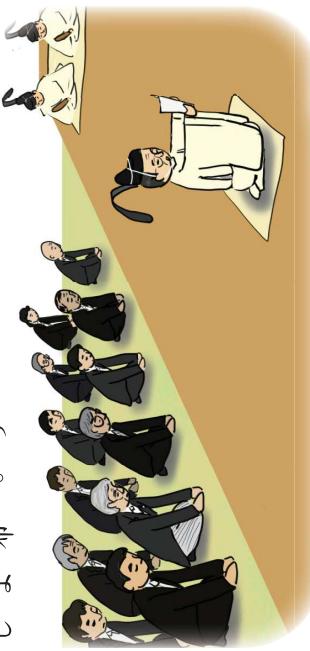
今年の頒布を始めることを大御神に奉告し、奉製された神宮大麻が神宮大宮司より神社本庁の統理（代表）



へと授与されます。その後各都道府県神社庁へ届けられ、頒布始祭が執り行われます。

### 神宮大麻脣頒布終了祭（三月五日）

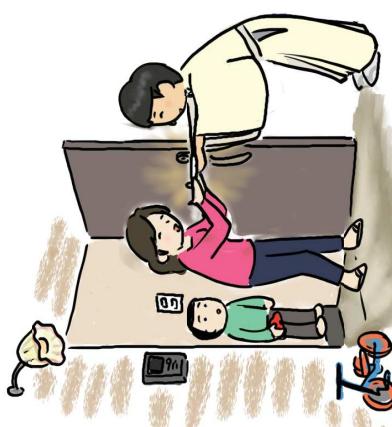
神社本庁統理以下、各都道府県神社庁代表者が参列のもと、悉なく頒布を終えたことを大御神に奉告します。



## ご家庭への頒布

（十月～十二月）

神職、氏子関係者の手によつて各ご家庭へ頒布されます。現在の全国各地への頒布は、明治天皇の思召しにより明治五年から始まりました。神宮大麻は各神社においても授与しています。



こちらも合わせてご覧下さい



神宮大麻ご家庭へ  
心の循環



神宮大麻と氏神さまのお神札と一緒におまつりしましょう  
家令和三年度  
庭祭祝賀発子ラシ  
(神社本庁)  
神道青年全国協議会  
発行人